



2021-22 年度地区方針

「チェンジロータリー 新時代への成長に！」～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

本日 第2402回 2021年7月31日(金) No. 2283

本日のプログラム Today's Program

創立50周年記念式典及び懇親会

点 鐘 16:00

於名古屋東急ホテル

静 聴 「君が代」・「奉仕の理想」

担当者: 創立50周年記念事業実行委員会

前回 第2401回 2021年7月16日(金) 記 録

○唱 和: 「四つのテスト」

○出席者: 会員 23 名中 15 名出席 出席率 65.21%

会長あいさつ 桜井 雅博



本日は来訪者もゲストもおみえにならないので、時間の許す限りお話しさせていただきます。

お手元に配布してある、11月28日創立50周年記念講演会チラシを参照

願います。松永さんに作成して頂いた叩き台です。講師である北康利氏の講演会テーマは、「渋沢栄一に学ぶ社会奉仕の道」—「論語と算盤」の美学—です。チラシ背景は尾張旭のお城です。

次回の理事会でチラシ案を承認して頂く予定ですので、校正等のご指摘をお願い致します。併せて、「超約版 論語と算盤」原作者 渋沢栄一 監訳 渋澤 健(玄孫) 2021年1月20日初版の抜粋文を配布しましたので、参照下さい。本の「はじめに」では、「道徳と経済活動が一致すべき、それが渋沢栄

一の考えでした。渋沢栄一が生きたのは、日本の社会が近代化に向けて大きく舵を切った変化の時代でした。変化は否応なく訪れるものです。そして、社会が変化する時代に、人々がかならずぶつかるのが、『本当に大事なものは何か?』という問いです。」とあります。舟橋前会長が掲げられた、「不易流行」に通じる考えだと思います。著書のなかでは、「富の追求には道徳が必要 モラルなき経営は続かない」とか「菅原道真の『和魂漢才』にたいして、私(渋沢栄一)は『士魂商才』を唱えます。」これは、時代背景に合わせたキーワードの置き換えかと思えます。また、「老いてこそ、ますます希望をもって勉強する『精神老衰の予防法』」を唱えています。これは、ロータリーの大切な理念である、「入りて学び、出でて奉仕せよ」に似ていると思います。渋沢栄一の「論語と算盤」を読むことによって、ロータリーの奉仕の理想をより深く学ぶことになるのではないかと私は思います。これらの理念をベースに、ロータリークラブの紹介パンフレットを、SDGs委員会・公共イメージ向上委員会を中心に作成していきたいと思えます。また、創立50周年記念誌の作成に

	8月6日(金)	8月13日(金)	8月20日(金)	8月27日(金)
例 会 予 定	卓話担当者: 桜井会長	休会	ガバナー補佐訪問	休会
	卓話者: //		卓話担当者: 梅村 邦雄	
	演題: 「クラブフォーラム」	定款により休会	ガバナー補佐	定款により休会
			卓話者: //	
			演題: 「ガバナー補佐訪問に因んで」	

あたっては、西尾職業奉仕委員長のご指導を仰いで、SDGs委員会・公共イメージ向上委員会を中心に、創立当時の記事を纏めて頂きたいと思っております。今般のコロナ禍により、創立50周年記念事業は今年度に継承されます。皆様のご協力を宜しくお願い致します。

幹事報告

- ・7/15(木)尾張旭市地域安全推進協議会・尾張旭まつり実行委員会 於尾張旭市役所 桜井会長 出席
- ・7/15(木)第1回地区研修実行委員及びDL合同委員会 於ガバナー事務所 森井地区研修実行委員 出席
- ・7/16(金)地区会員増強セミナー 於名古屋国際センター別棟ホール 加藤会員増強委員長 出席
- ・2021年7月 静岡県熱海豪雨災害(2620地区)義捐金についてご協力をお願いします。

ニコボックス

- 西尾先生、本日の卓話宜しくお願い致します。
桜井 雅博君、菊田 利昭君、江尻 豪君
金森 俊輔君、熊澤 功君、田中 祐子さん
森井 晴生君、森 友子さん
- 職業奉仕の卓話をさせていただきます。
西尾 輝久君
- 7月31日の創立50周年式典は、父の遺品整理に為、北海道にいますことから欠席します。皆様、良い時間をお過ごし下さい。
仲澤 昌容君
- 四大奉仕はロータリーの柱です。今期の活動を期待しています。
箕輪 良孝君
- 加藤清久さん、長い旅気を付けて。行きっぱなしにならないようご無事で。
箕輪 良孝君
- 早退致します。
菊田 利昭君

卓話



「奉仕プロジェクト委員会・内向きと外向き」
職業奉仕委員長 西尾輝久

職業奉仕とは、ロータリーアンの行動哲学・倫理観であり、一人一人が奉仕の理念を勉強し、日々の仕事に携わる中で奉仕の理念を実践しましょう。

四つのテストに照らし合わせて仕事をしましょう。個々のロータリーアンが内面に於いて自分で考え、「職場」で実践すること。(理解の為に「内向き職業奉仕」と呼びます)この考えが「職業奉仕」に関するこれまでの日本のロータリーの一般的理解でした。どうしても精神論・倫理観になりがちで難解でした。しかし、職業奉仕をこのように内向きの倫理観・精神論を中心にとらえるのは、どうも世界中で日本ロータリー特有な状況のようです。良い行動は

ことさらアピールしない、人に言わない隠匿の美、人知れず良い事をしよう、海外のロータリーでは「クラブの対外的奉仕活動」の枠組みの中で、職業奉仕を捉えているので、いままでの職業奉仕の活動は、会員に対する職業倫理の徹底や、工場見学・職場見学・職業奉仕の卓話などでした。しかし、2016規定審議会で重大で大幅な改正がありました。第6条の五大奉仕部門の2ですが、後半の「…そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる」が追加改訂されました。これを「外向き職業奉仕」と考えると、従来の前半部分は「内向き職業奉仕」となります。この「外向き職業奉仕」というのは、自分の職業上の技術・経験・ノウハウ・機材を活用して社会の問題やニーズに応え、役立てる、それをクラブの活動として実践する事、つまり、職業で世の中に奉仕する、これも1つの「職業奉仕」の実践です。外向きの実践例として、地区のロータリアンがカンボジアの山村の子供の歯科検診と歯磨き指導や、大震災の現地へ行き、水道復旧作業・弁護士・税理士の無料相談など、職業奉仕と他の四大奉仕との関係は、内向き職業奉仕で見ると、他の四大奉仕と別格な精神論。外向きの職業奉仕でみると五大奉仕は連動する。ここで2016年の改正が教えてくれたことをまとめると、職業奉仕は「内向き」と「外向き」がある。内向き職業奉仕は、ロータリアン一人一人が奉仕活動を通じて「奉仕の理念」を学び、それを自分の職場に持ち帰り「奉仕の理念」や「四つのテスト」に照らして自らを律し仕事をすること。外向き職業奉仕とは、会員の職業上の手腕を社会の問題に役立てるためのクラブの対外的奉仕プロジェクトに活用する事となります。

からくり時計お披露目式

日時：2021年7月24日(土)
場所：尾張旭市文化会館



2021年7月25日
中日新聞 なごや東版 掲載記事

